

市議会だより

15周年 串木野



観音ヶ池さくら祭り
(西薩写友会：大迫)

No. **70**

2019.5.7

3月定例会

12 議員が市政を問う P2~8

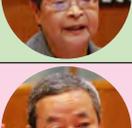
常任委員会報告 P12~13

予算審査報告 P9~11

議員と語る会の開催 P14

市政を問う!

◇◇一般質問(12名)◇◇

顔写真	議員名(ページ)	質問事項
	濱田 尚 (P3)	1. 商工行政について 2. 職員の研修について 3. 道の駅について
	中里 純人 (P3)	1. 循環型社会を目指して 2. マラソン大会と交流人口増について (号砲とともに前に進む「いちき串木野市」)
	原口政敏 (P4)	1. 児童虐待防止について 2. 幼児教育・保育の無償化について 3. 子育て支援について 4. 水道の民営化について 5. 大里川の拡幅について
	西別府 治 (P4)	1. 海岸整備について 2. 商店街のスマートウェルネスシティを目指すまちづくりについて
	中村 敏彦 (P5)	1. 児童虐待について 2. かごしま連携中枢都市圏ビジョンについて 3. 川内原発について
	松崎 幹夫 (P5)	1. 学校再編について 2. 薩摩藩英国留学生記念館の今後について 3. がん検診率向上策について
	東 育代 (P6)	1. 虐待防止について 2. 小規模校の支援と対策について
	大六野一美 (P6)	1. 商店街の活性化対策について 2. 西岳1号線の道路整備について
	吉留 良三 (P7)	1. 買い物弱者対策について 2. 農業政策について 3. 教育問題について 4. 市道六反田線の改修について
	江口 祥子 (P7)	1. 児童虐待ゼロを目指して 2. ワンストップ窓口の設置について
	宇都 耕平 (P8)	1. 観音ヶ池周辺開発の進捗状況について 2. 吹上浜崎野潟の環境整備について 3. 本市所有車両の実情について
	田中 和矢 (P8)	1. 串木野西中と串木野中の統合の検討について 2. 道路の新設、改良、維持に関する税金の使い方について 3. 子どもを守るべき市の対応について



濱田 尚 議員

職員の消防団での研修 前向きに検討

問 国の法律でも地域防災力の充実に向けて自治体職員の消防団への加入を促進している。日置市58名、薩摩川内市105名、本市3名が消防団員として活動している。本市でも研修として加入し、地域の防災や防犯に取り組む活動を理解することは、市民の生命財産を守るという使命を果たすことで防災意識を高めることに繋がるのでは。

答 消防団加入のメリットを考えると職員研修の一助となり、社会人としての規律の習得や地域住民との深い繋がりができる。市全体の災害対応能力の向上にも期待できるので前向きに検討したい。

起業・創業などへの支援充実 関係団体と連携し取組む

問 これまでの起業・創業の取組み状況は。

答 商工会議所や商工会と連携し支援をしている。また、空き店舗等活用促進事業補助金は平成25年度創設で、本年1月末迄に47店舗の事業者が新たな起業をされた。

問 富士市産業支援センターが取組む「ビズモデル」が全国的に広がりを見せ、マーケティングの専門家を雇用し、その地域にあった様々な事業経営の課題解決に実績を残している。本市でも関係団体と連携した起業・中小企業支援センターの設置は検討できないか。

答 天草市などの取組みは、売上増加や販路拡大など産業全体の底上げに繋がっているが、多額の事業費を費やしていることから現時点ではよろず支援拠点やソーホー鹿児島の有効活用を図りたい。

「道の駅」の設置 検討を重ねる

問 南九州自動車道も整備が進む中、これまでも「食彩の里」に設置を望む質問を重ねたが、費用の関係で進んでいない。本市の玄関口としての機能など考えると具体的に設置検討すべきでは。

答 駐車場やトイレの問題などあるが、これまで以上に検討を重ねたい。



食彩の里



中里 純人 議員

マラソン大会 開催する

問 第30回全国女子高校駅伝大会で神村学園が初優勝し、第63回全日本実業団対抗駅伝大会では生福地区出身の大六野秀敏選手が旭化成を3連覇へと導いた。今回の素晴らしい成績をきっかけとして、「いちき串木野マラソン大会」を開催してはどうか。美しい海岸線やまぐろ、つけ揚げ、ハム、かんきつ類など豊富な特産品のおもてなし

により交流人口を増やすとともに、市民の皆様の健康増進が図れるのではないか。

答 選手の活躍は市民に大きな感動と夢を与えてくれた。本市を全国へ発信するよい機会となり、市民体育大会や地区対抗駅伝競走大会等の地域活性化へも繋がる。



現行の4つのウォーキング大会の見直し等も視野に入れ、地域おこしや交流人口の拡大に繋がる本市にしかできないような大会を開催したい。

環境センター 老朽化が進む

問 環境センターの現状はどのようか。

答 平成11年から供用開始し、19年が経過。耐用年数は焼却設備で20年、施設の建屋は50年。家庭の生ごみには約80%の水分が含まれ、水分が多いと燃焼効率が悪くなり、収集車の運搬効率やCO₂削減にも大きな影響を及ぼす。安定的な稼働を継続する整備計画を立て、コスト面や延命化の効果を整理し、施設の長寿命化に向けた計画を策定している。

問 日置市では、生ごみを回収し堆肥化、循環型の社会をつくろうと取り組んでいる。その結果、家の中が臭くなくなり、ゴミ袋の使用量が減り、ゴミ捨てが楽になった等、メリットが多いことが報告されている。本市でも検討してはどうか。

答 試算したところ、毎年4,000万円近くの費用がかかる。費用対効果で現時点での導入は難しい。生ごみの水切りを重点に考えていきたい。



原口 政敏 議員

**児童虐待防止の対策は
関係機関と連携し検証**

問 今回、2件の虐待事件が起き、市長はどのように思われたか。今後どのような対処をするのか。

答 今回の事件は、子どもがあまりにかわいそうで不憫で、誠に痛ましく遺憾である。関係機関や地域とも連携し、子どもが安心して暮らせるように児童虐待の未然防止に取り組んでいきたい。

問 昨年の9月議会で5人の児童虐待があるとのことであったが、その後の対応はどうか。

答 関係機関と連携を取りながら見守り中である。学校や福祉課、スクールソーシャルワーカーなどの指導により、問題なく学校に通っている子どももいる。

**幼児教育・保育の無償化
3歳から5歳までが対象**

問 無償化となる範囲は。認可外の保育所も含まれるのか。

答 5年間は国の基準を満たさない施設でも無償化の対象となる。しかし、市が条例で対象施設となる基準を定めることになる。基準の具体的内容は今後検討する。

**水道事業の民間委託は
現時点での考えはない**

問 水道事業をコンセッション方式で民営化する考えはないか。

答 水道法の改正で、民営化する自治体もあるが、サービスの質の低下や災害時の対応、海外での再公営化の事例などを考慮すると、現時点ではコンセッション方式による民間委託は考えていない。

**大里川の拡幅工事は
国や県に強く要望する**

問 大里川で一部崩れかけ、早急な対応が必要な箇所があるが。

答 これまで川南は場整備区間を、平成29年度迄に370mの築堤工事をを行い、本年2月には560mの工事発注をしている。今後も国や県に要望していきたい。



大里川

○その他の質問項目
・子育て支援について



西別府 治 議員

**「海岸協力団体」の創設を
制度や実態等を調査研究**

問 照島海岸の浜競馬等、イベントに合わせた環境整備はできないか。

答 浜競馬のコースから八房川の間については、関係者と協議しながら環境整備に努める。

問 海岸法の改正に伴う、海岸協力団体の創設に伴う指定は。

答 海岸協力団体制度の内容、実態等について、調査・研究する。

**スマートウエルネスシティ
パートナーシップを構築**

問 「昭和・平成」と、通り会として活動できたことを感謝され、夜でも安心と活気を保つために、閉店後も応援をされている。通り会が所有する街灯の電気料金等に対する本市の補助制度は。

答 街灯の電気料金は、各通り会などでの負担をお願いしている。今後商店街の皆さんを中心に、商工会議所等々との振興策について、連携を深め、模索する。



問 人口減少が続く中、既にハード面が整備された環境を生かしたスマートウエルネスシティの構築が必要ではないか。

答 今後のまちづくりにスマートウエルネスシティの視点を組み入れていけないか、研究する。



問 スマートフォンを活用して、個別に運動や食事プログラムを実施する手法があるが。

答 筑波大学の研究成果をもとに、住民に個別指導と継続支援を行う個別運動、栄養プログラムの提供を今後、個人のIT機器を活用した健康管理が主流になる可能性が高いと考えており、研究していきたい。



中村 敏彦 議員

虐待防止の連携検証と研修

積極的研修に取り組む

問 児童虐待が大きな社会問題となっているが、本市の通報件数並びに認定件数の最近の推移はどのようなか。

答 相談件数及び虐待認定は、

年度	相談件数	実人員	認定
28	120件	18人	4件
29	78件	18人	3件
30	65件	20人	4件

となっている。(30年は2月末現在)

問 報道された本市の事案から何を学ぶか。また、市独自の担当者研修をすべきではないか。広報等での市民への周知を。

答 関係機関との連携の検証と住民の方々の協力も欠かせない。教職員、保育士、担当職員それぞれ県や地区研修に参加しているが、さらに積極的に参加した。児童虐待防止月間(11月)以外にも広報等で周知を図る。

大きい人口減少の克服を

食の魅力発信で活性化

問 鹿児島・始良・日置・いちき串木野市4市で取り組む、5ヶ年事業の連携中枢都市ビジョンの折り返し年度になるが、本市の魅力や強みと予算への反映について伺う。

答 食品関連の特産品を強みとして「食の魅力」を発信する新事業も提案している。

問 4市の中で最も人口減少率が激しい。最新発行の「宝島社」の「住みたいまちランキング・南九州」において若者・子育て・シニアなど5部門すべて5位以内。これを生かすために総務省推奨の「移住コーディネーター」の設置は考えられないか。

答 現在、「定住相談員」を配置していることから、研究課題としたい。

新社長会見と3号機建設

安全最優先の運転を求める

問 九州電力(株)の新社長が、昨年6月に記者会見で「原発技術の伝承は国民の責任」「処分場確保は国民の課題」「3号機増設」などと発言されているが、これらに対する市長の見解は。

答 万全の安全最優先の運転を求める。3号機建設については「反対」である。



松崎 幹夫 議員

学校再編の考えは

検討する時期である

問 本市の児童生徒数(減少傾向)を考えれば、再編を考える時期ではないか。

答 急速に児童生徒数の減少が進んでいることから、今後どのような教育環境が望ましいのか、検討する時期に来ている。

問 学校の統廃合に向けて、専門的な会議を開いて検討を進めるべきではないか。

答 学校規模適正化検討委員会において、児童生徒に好ましい教育環境、適正な学校規模など検討してきた。専門的な会議の設置等を含め検討していきたい。

問 平成27年度から進められた小中一貫教育の取組は、どのような成果が得られたか。また、その成果をどのように生かしていくか。

答 特に羽島中学校区では、小中隣接の利点を生かし、合同運動会や乗り入れ授業などを行ってきた。ほかの中学校区へも広げていきたい。

薩摩藩英国留学生記念館

5周年記念事業を展開

問 記念館の魅力を高めるため、また来館者数減少に歯止めをかけるために、どのような取組を考えているのか。

答 マンネリ化しないように特別企画展を開催したり、旅行企画会社等へのセールスなど、各方面へ

の訪問活動等を計画している。

問 5周年記念事業はどのような内容を考えているか。

答 4月の黎明祭を皮切りに、特別企画展などの魅力的なイベントを開催し誘客を図りたい。

問 観光アドバイザーや総合プロデューサーと地域との連携はできないか。

答 連携を取りながら、市全体の観光振興策として捉えていきたい。

問 SNSやインターネットによる情報発信の取組は。

答 過去に開催したイベントの動画を配信している。今後も地域や事業所等とも連携を図りながら、効果的な配信に努める。



薩摩藩英国留学生記念館



東 育代 議員

子ども家庭総合拠点の設置は 今後検討する

問 本市におけるDVの相談件数と取組は。

答 DVの相談件数は、平成26年度2件、27年度5件、28年度



パープルリボン

5件、29年度6件、30年度（1月末）11件である。広報や講座等により啓発に取り組んでいる。

問 支援が必要な家庭からの相談対応や虐待情報の収集にあたる「子ども家庭総合支援拠点」を、早急に整備すべきと思うがどうか。

答 国の児童虐待防止対策総合プランに基づき、2022年までに全市町村への設置を目指すと言われている。今はまだ具体的な取組はしていないが、市の実情を踏まえて今後検討する。

問 高齢者及び障がい者虐待の現状と虐待防止の取組は。

答 地域包括支援センターで行った総合相談は662件で、うち1件が虐待と認定。障がい者等基幹相談支援センターでは301件の相談があり調査の結果、虐待は無し。戸別訪問や検討会を開催し支援をしている。引き続き関係機関と連携しながら、迅速な対応に心がけていく。

学校統廃合の計画は

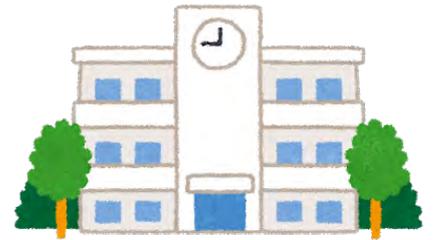
検討する時期に来ている

問 小規模校地域では、学校を中心にコミュニティが成り立っているように思う。学校の統廃合について伺う。

答 小学校だけは残すべきと思っていたが、どの様な形の教育環境が望ましいのか検討する時期に来ている。

問 国の補助対象外（10人以下）の放課後児童クラブの設置についてどうか。

答 新子育て支援計画の中で検討していく。



大六野 一美 議員

商店街の活性化対策 商工会議所との連携

問 ドリームキャノピーを中心とした活性化対策によって、商店街がより活性化するのはないか。

答 商店街活性化対策は、串木野商工会議所と連携を取りながら進めている。平成30年度は、人材育成を目的とした県の商店街活性化人材事業を活用した施策を実施した。

問 商店街は民間の所有物であり行政が介入することは許されないが、マグロ船37隻を有する本市がアメ横のミニ版をつくることで、V字回復する可能性があるのではないか。

答 商店街の多くの関係者が何とかしなければいけないという問題意識や危機感を共有して、具体的な行動に繋げていくことが必要。

西岳1号線の整備

昨年を上回る

問 西岳2号線と西岳4号線は整備が進んでいるが、本市観光の起点である西岳から冠岳一帯を活かすには西岳1号線の入口を整備する必要があるのではないか。

答 西岳1号線は、住宅の移転補償費や工事費に多額の費用を要する。県道入口部分は勾配がきつく、S字曲線になっているので改良が必要である。

問 生冠中学校教頭住宅付近から新たに道路を通せば、経費はさほど掛からないのではないか。商店街や薩摩藩英国留学生記念館、あるいは観音ヶ池などと観光ルート化し、交流人口の増大が図れる。市長の任の間に手を付けるべきではないか。将来に向けて整備すべきである。

答 勾配のきつい西岳1号線入口とS字曲線の部分は改良する。片方から回るルートもあるので、県道と農道の間にもう1本道路を通すことは理解されない。西岳2号線の整備を進めていることから、今後の課題として取り組みたい。



西岳入口付近



吉留 良三 議員

**ころばん体操と買物の連携を
希望する地区と協議・支援する**

問 芹ヶ野公民館などのころばん体操と連携した買物対策を拡げる移動販売業者との仲介を。

答 介護保険事業の生活支援体制整備事業を活用し、市内5公民館での移動販売が好評で、希望公民館に合った支援をする。

問 ころばん体操以外の集いも増やせば、健康保持と買物の一挙両得に。曜日設定も柔軟に。

答 生活支援コーディネーターを中心に進めており、開催日も協議する。体操外でも96ヶ所で集っており、閉じこもり防止や介護予防に大変有効と認識しており地域に合った買物支援をやる。

問 様々な集いを増やせば買物だけでなく課題解決など、「小さな拠点」のミニモデルになる。

答 公民館等に住民が集い交流の場となり、住民同士の見守りなど、安心して暮らせるまちづくりの意味で小さな拠点の施策に近い。まち協等と協働で取り組む。

**鳥獣害に強い作物推奨を
農協や県など交え検討中**

問 国連の「家族農業10年」決議同様本市も家族中心で、活性化策の耕作放棄地対策・鳥獣害対策としてツバキ栽培事業が始まった。葉ニンニクなど短期決済型作物の推奨を。

答 ツバキは今回約540本を計画。鳥獣害に強い作物推奨は、農協等の情報収集と県を交え検討中。



教職員の多忙化対策は

定時退校日や行事等を精選

問 学校の長時間労働は正も、お礼状の廃止など出来ることの積み上げがないと厳しいのでは。

答 過労死基準の月80時間以上超勤が本市で24人、約12%の教職員の実態。業務改善や人的支援など実行可能なところからやる。

六反田線を避難道路に

岩盤の風化等で改良困難



江口 祥子 議員

**児童虐待を防止するには
関係機関との連携を密に**

問 虐待について、市民はどこに相談すればいいのか。また、相談窓口の周知や通報への対応はどのように行われているか。

答 市の相談窓口は福祉課で、鹿兒島中央児童相談所又は児童相談所全国共通ダイヤル189でも受け付けている。周知については、広報紙で相談連絡先を掲載している。通報への対応としては、児童相談所を含めた関係機関で情報を共有し対応

している。虐待を未然に防止するには、早期発見が大切と考える。

問 児童・生徒からのアンケート調査による学校の対応は。

答 結果をもとにした教育相談も行っている。対応が必要な児童・生徒については、生徒指導担当者、養護教諭、管理職、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなど、組織として対応している。

問 SNSを活用した相談体制の整備はできないか。

答 東京都の取組や全国のSNS活用事例を踏まえて、今後研究していきたい。

**ワンストップ窓口の設置は
手続の負担軽減に努める**

問 市役所内にお悔み（死亡届）の手続きに関する専門窓口の設置は出来ないか。

答 必要な手続きが個人ごとに異なるため、一律な対応が出来ないことから担当課で個々に対応している。現在でも、予め必要な書類などを準備して、スムーズな手続きが出来る体制をとっている。

問 お悔みに関する諸手続きについて、負担であるとの市民の声がある。手続きを簡素化することはできないか。

答 高齢の方や歩行等が難しい方については、関係課の職員が書類を持って回るなど配慮している。今後も継続して、ご遺族の負担を軽減し、スムーズな手続きが出来るよう努めていく。



市民課窓口



宇都 耕平 議員

**観音ヶ池周辺開発の進捗は
計画を策定し整備を進める**

問桜の花を上から見るには最高なものであり、観光の目玉になる展望台の設置は考えられないか。

答運動場脇の通路から観音ヶ池方面に延びる展望デッキとして、県事業への採択を目指し要望している。

問本格的なログハウス建設は考えられないか。

答最近のレジャーは多様化し、アウトドアの傾向はログハウスよりテントを使うオー

トキャンプ等が人気。現時点では考えていない。

問以前ボーリングした水源の活用は。

答渇水時の農業用水として活用している。プール・温泉等については、夢を描くことは今後も参考としたい。

問寺迫観音ヶ池線の拡幅計画の進捗状況は。

答整備箇所の優先度や地元の意見を考慮し、道路整備計画の見直しを行うとともに財源確保に努める。



寺迫観音ヶ池線

**吹上浜崎野潟の環境整備
進捗率75%の見込み**

問瀨崖改修工事継続の状況はどのようなか。

答総事業費2億円を見込み、計画延長320mで平成30年度までに120mが完成し、本年度も120mの計画である。侵食を防ぐために早期完成を要望していく。

問離岸堤設置延長工事の状況は。

答現地調査を、県・市・地域・関係者と実施している。保全侵食対策を強く要望する。

問保安林内の整備（雑木除去）について。

答地域住民を守る風潮砂害を防ぐ保安林で、付近に幼稚園や小中学校があるので安全確保のためには雑木等の除去は必要。森林管理署へ要望する。

**本市所有車両の実情は
ドライブレコーダー設置22台**

問車両総数とドライブレコーダーの設置進捗状況は。

答特殊車両57台を含めると151台。緊急車両や使用頻度の高い行政バス等に22台設置。設置率は14.6%。



田中 和矢 議員

**中学校の統合は
検討する時期にきている**

問中学3年間は基礎学力だけでなく進路やその後の人生を決定づける時期である。教育環境を整えるため、串木野西中と串木野中を統合すべきではないか。

答今後、どのような教育環境が望ましいか検討する時期にきている。

問1教科一人の先生が3学年を教えるのは、先生にとって負担でストレスも大きいのではないか。

統合することで学習面の効果も良く、授業も活発になるのではないかと。

答各教科専門教員が授業をし、質の高い教育の推進が図られている。

問串木野西中では生徒数が少なく、チーム編成が出来ない部活動はないのか。保護者や生徒は、単独での試合出場が出来なく寂しい思いをしていると聞く。統合することで両校メリットがあると思うが。

答部員数が少なく単独で試合に出場できない部がある。他校との合同チームで試合出場や合同練習をしている。

問市総合教育会議の確認事項で、中学校の統廃合基準は「生徒数が隣接学年で8人以下となり、複式学級になることが予想される場合」とある。これだと串木野西中は何十年もの間このままの状態が続くが、統廃合させないための基準なのか。

答今後、少子化の状況のみで、統廃合については検討していく。

道路整備の優先順位は

交通安全上の緊急性等を考慮

問道路の新設や維持工事の選択、優先順位の決定は。

答交通量や安全上の緊急性等を考慮し、事業効果の高い道路を優先している。

問路面状況調査の結果をもとに、市は公平・公正にバランスよく実施し、予算配分や工事内容を検証し、工事費を節約し浮いた分で、更に他の場所の工事に向けたなどすべきではないか。

答ひび割れ状態や路面の凹凸などを指数化し、舗装の打ちかえなどを判断。障がいのある方や高齢者等、全ての人が使いやすい整備に取り組んでいる。

問春日町の冠水箇所、中央通りの歩道、交差点の白線引き直しなど整備する箇所が多くあるが。

答年次的に改良や補修を行えるよう、財源を確保し整備していく。

平成 31 年度当初予算を可決 (前年度比 9.1% 増)

一般会計 172 億 8,700 万円

議長を除く 15 人の委員で構成する「予算審査特別委員会（濱田尚委員長，吉留良三副委員長）」を設置。3 月 11 日から 15 日にかけて委員会を開催（4 日間）し、審査を行いました。

予算の概要

本年度の予算は、人口減少と少子高齢化への大きな課題に対し、幼児教育・保育の無償化や教育環境の充実などに取り組む一方、厳しい財政状況と時代の流れを的確に捉え、事業のあり方を再考し、官民連携・地域間連携などの政策連携を図りながら、市民の満足度を高め、持続可能な「いちき串木野市」の創造へと繋げていくための予算となっています。

【ふるさと納税の寄附金額と主な活用事業】

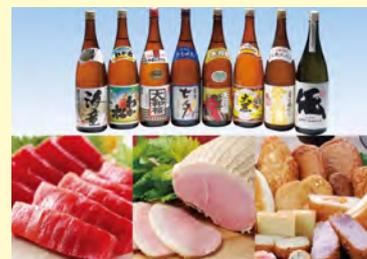
○寄附金額の推移

年度	寄 附 金 額	伸び率 (前年度比)
平成 27 年度	3 億 6051 万 4368 円	
平成 28 年度	3 億 7168 万 966 円	3.1% 増
平成 29 年度	6 億 7389 万 6976 円	81.3% 増
平成 30 年度	16 億 8000 万円 (見込)	149.3% 増

※平成 30 年度の寄附金額は見込額です。

○平成 31 年度の主な活用事業 (ふるさと寄附金基金充当事業)

- ・ 予防接種等事業、妊婦健康診査事業 (健康増進)
- ・ 未来の宝子育て支援金事業 (子育て支援)
- ・ 「英語のまち」いちき串木野推進事業 (教育振興)
- ・ 学校パソコン整備事業 (教育振興)
- ・ 串木野高校及び市来農芸高校支援対策事業補助金 (教育振興)
- ・ 危険廃屋等解体撤去工事補助金 (住環境)
- ・ 住宅リフォーム事業補助金 (地域活性化)
- ・ サワーポメロ PR・消費拡大プロジェクト (農業振興)
- ・ 企業の誘致促進及び育成補助金 (産業振興)
- ・ 転入者住宅建設等補助金 (移住定住)



平成31年度の主な事業

1. 市民と行政とのパートナーシップによる「共生・協働のまちづくり」

- ・コミュニティ自動車貸与事業
……………123万円
- ・共生協働推進事業……………6225万円
- ・業務改革支援委託……………684万円

2. 健康で文化的な生活を営める「元気で安心できるまちづくり」

- ・(新) 羽島地区コミュニティ消防センター屋根防水改修事業……………230万円
- ・(新) 風しん抗体検査推進事業……………692万円
- ・(新) フッ化物洗口事業……………16万円
- ・(新) 産婦健康診査事業……………172万円
- ・(新) 小学校空調設備整備事業
……………1億2881万円
- ・(新) 子どもハローワーク事業……………12万円
- ・防災センター整備事業……………4億8781万円
- ・最終処分場管理費……………5765万円
- ・環境センター長寿命化基本計画検討事業
……………330万円
- ・市来エネルギーセンター解体事業
……………6611万円
- ・合併処理浄化槽設置整備補助金……………4030万円
- ・学校給食センター建設事業……………11億2070万円
- ・南九州高校総体開催……………1098万円
- ・「英語のまち」いちき串木野推進事業
……………521万円
- ・学校パソコン整備事業……………5775万円
- ・放課後子ども教室開設事業……………205万円
- ・縁結び隊補助金……………100万円



羽島地区コミュニティ消防センター

3. 世界に羽ばたく力強い産業が展開する「活力ある産業のまちづくり」

- ・ふるさと納税推進事業……………10億円
(ふるさと納税専門サイトなどにより本市特産品のPRや産業振興を図る)
- ・WBSフェスティバル開催……………250万円
- ・(新) いちき串木野ふるさとの夕べ実施事業
……………262万円
- ・(新) 西薩地域観光拠点周辺森林整備事業
(※照島神社周辺の枯松伐採)……………485万円
- ・(新) 地域おこし協力隊活動……………400万円
(※新たに農村活性化支援員を募集)
- ・(新) 羽島漁港周辺環境整備事業……………1870万円
- ・海外販路開拓支援事業……………706万円
- ・クルーズ船誘致推進事業……………221万円
- ・サワーポメロPR・消費拡大プロジェクト
……………550万円
- ・農業次世代人材投資事業補助金……………1500万円



照島神社

4. 利便性が高く美しいまちを創設する「快適な環境のまちづくり」

- ・(新) 甕島航路活性化推進事業……………132万円
- ・移住定住促進事業……………255万円
- ・空き家利用促進補助金……………35万円
- ・危険廃屋等解体撤去工事補助金……………925万円
- ・浜西住宅建替事業……………2330万円
- ・道路改良特別事業(14路線)……………1億円
- ・道路新設改良事業……………3億6815万円
(都心平江線を含む11路線)
- ・橋梁長寿命化事業……………7200万円
- ・払山線改良事業……………900万円
- ・麓土地区画整理事業……………5億6365万円
(平成31年度末の進捗率96%)
- ・ひばりが丘団地改修事業……………1570万円

予算審査の質疑・意見

質疑

クルーズ船誘致

問 取組の方法や目標をどのように考えているか。

答 本市が誘致しようとしているのは、国内の日本人向けクルーズ船である。乗客の趣向や興味など船会社等とも綿密に協議し、振興協議会で誘致活動を進め、平成 32 年度を目標に取り組んでいきたい。

フッ化物洗口事業

問 導入に至った理由は何か。また、どのように取組を進めていく考えか。

答 本市は、1 歳 6 カ月健診及び 3 歳児健診での虫歯のり患率が非常に高い。幼少期からの虫歯予防対策が必要で、市主導でフッ化物洗口事業を導入することとした。導入に当たりモデル園を設定し、園長・先生・保護者の方々にも十分に説明を行い、担当歯科医師の協力も得て取り組んでいきたい。

学校パソコン整備事業

問 この事業の財源は、ほとんどがふるさと寄附金基金繰入金である。国・県の補助制度は活用できないのか。

答 IT化が進み、パソコン等の機材を使った教育が進められているが、現在は機材整備を図るための補助制度はない。

小学校空調設備整備事業

問 整備の内容及び施工計画等はどうなのか。

答 串木野小学校で 27 教室、市来小学校で 15 教室に整備する。財源としている電源交付金の交付決定が 5 月までになされれば 9 月頃に完成予定。平成 30 年度の入札結果によると、中学校の空調整備に 1 教室当たり附体工事費込みで 300 万円程度かかっている。

意見

ふるさと納税寄附金

この寄附金により多くの事業が予算化されている。今後、法的な規制がなされるが、特産品の PR を含めて寄附金の取組を全力で頑張してほしい。

生活困窮者就労準備支援事業等

生活困窮者就労準備支援事業及び生活困窮者家計改善支援事業について、事業成果に結びつく動きを積極的にすることで、生活保護受給者の減少に繋がることから、基準等を定めてアプローチを行うなど積極的な取組を期待したい。

サワーポメロ PR・消費拡大プロジェクト

ブランド化するには、良い商品を確実に市場に送り出す体制が必要である。5 年から 10 年の間でブランド化できるよう期待したい。



防災センター整備事業

地元業者も信頼や実績があることから、入札に参加できるような体制づくりを考慮してほしい。

補助金の見直し

財政難を理由とする補助金の見直し（9 項目）が、唐突に当初予算議案として示された。消費税増税など市民への影響をもっと考え、慎重に対応してほしい。

平成30年度補正予算

小学校の空調整備に1億2,400万円!

《予算総額 176 億 7,095 万円》

H30 一般会計補正予算

【歳入】

地方交付税……………2 億 457 万円

国からの普通交付税の追加。

【歳出】

企業の誘致促進及び育成補助金……518 万円

雇用促進補助 (450 万円)、給水装置設置補助 (68 万円) ※(株)サンクスフーズ

農地利用最適化交付金事業……………136 万円

活動・成果実績に基づく農業委員及び農地利用最適化推進委員に対する報酬。

意見

遊休農地の発生防止と解消を推進するなど、農地利用の最適化に向け、さらに努力してほしい。

有害鳥獣捕獲事業補助金……………398 万円

鳥獣の捕獲実績に基づく補助金の追加。捕獲頭数を 1670 匹 (頭, 羽) と見込む。

小学校空調設備整備事業

……………1 億 2,461 万円

串木野小学校及び市来小学校を除く、各小学校に空調設備を整備する。(串木野小と市来小は平成 31 年度当初予算で計上。いずれも工事は平成 31 年度に実施。)

地域間幹線系統確保維持費補助金

……………933 万円

冠岳・野下線等 (6 系統) のバス運行に対する補助金。

地方バス市内路線維持費補助金

……………901 万円

羽島・土川線等 (2 系統) のバス運行に対する補助金。



H30 特別会計補正予算

国民健康保険特別会計

国民健康保険税は、1,858 万 3 千円の減額。基金残高は 3 億 7,916 万円を見込む。

介護保険特別会計

予算総額を 36 億 7,902 万 1 千円とする。基金残高は 3 億 911 万 6 千円を見込む。

意見

交付金の活用について、基金積立も大事であるが様々な事業を行い介護予防に取り組むことが重要。来年度の大きな課題としてほしい。

条例の制定・改正、その他

『ふるさと納税』予算増額

年末にかけ寄附額が急増。寄附目標額を1億円増の17億円に。

意見

目標金額を大きく掲げ、それに向かって突き進んでほしい。

経営改革課を新設

行政組織条例の改正

事務事業の見直しや効率化、公共施設の統廃合や再編などの取組を加速させ、将来の財政運営を長期的な観点から見通していくために設置。民間的な思考も取り入れながら進めるねらいもある。

意見

作業を進める中で、十分な議論を尽くしお互い納得がいくようにスピード感を持ちながら進めてほしい。

消費税引上げに伴う条例改正

消費税法等の改正に伴い、関係する35の条例の使用料等を改正

本年10月から2%引上げに伴う影響額を、半年分で32万7千円と見込む。

指定管理者の指定

交流センター、農村交流施設、都市公園など、22議案

問 利用が極めて少ない施設を指定管理とすることが適切か。

答 利用が極めて少ない中で、直営方式や指定管理方式、それ以外の方式の中で現時点での最善の提案をしている。今後、公共施設の再配置計画との関連や利活用の状況等を踏まえ、有効活用する方法を引き続き検討したい。

行政嘱託員制度の廃止

行政嘱託員の廃止に伴う改正等

問 行政嘱託員制度の廃止をどのように考えているのか。

答 この制度は、自治公民館に対する市役所からの委託業務の負担が大きく本来の自治活動ができないことや個人情報保護のために導入した経緯があるが、導入後約20年が経過し社会情勢の変化に合わせて見直しを行った。

新学校給食センターの建設工事

契約金額9億1,204万1,640円。入札により業者選定。

意見

今後、高額な工事の発注を行う際には、地元業者が参入できるような方策を考えてほしい。また、工事の下請けについても、できるだけ地元業者の活用を。



新学校給食センター完成予想図

建築後35年経過し老朽化している串木野学校給食センターと市来学校給食センターを統合した新学校給食センターを建設する。

- 建設地 西薩町地内(串木野新港埋立地)
- 完成予定 令和2年3月(同年4月開設)

第12回『議員と語る会』を開催

あなたの声をお聞かせください！

いちき串木野市議会では、議会活動や市政の状況を直接ご報告し、市民の皆さんからの意見や提言等をお聞きするため、「議員と語る会」を開催いたします。

昨年は、16会場で506人の参加をいただき開催することができました。本年も市民の皆様方の多数のご参加をお待ちしております。



日 程		1 班	2 班	3 班
5月13日	月	中 央 (中央交流センター)	本 浦 (本浦交流センター)	冠 岳 (冠岳交流センター)
5月14日	火	大 原 (中央公民館)	旭 (旭交流センター)	野 平 (野平交流センター)
5月15日	水	荒 川 (荒川交流センター)	上 名 (上名交流センター)	照 島 (照島交流センター)
5月16日	木	生 福 (生福交流センター)	湊・湊町 (市来地域公民館)	羽島・土川 (羽島交流センター)
5月17日	金	川 北 (川北交流センター)	川 上 (川上交流センター)	川 南 (川南交流センター)

※開始時間は19時30分

市議会議員と意見交換会をされませんか！

市議会では、各種団体等からの申し込みにより、意見交換会を実施しています。議会と市民相互の理解を深め、市民の皆さん方のご意見をお聞かせください。なお、申し込みはいつでも受け付けています。

1. 対象となる団体

市内の各種団体、学校 PTA、公民館組織、個人グループ等（参加人員が概ね 10 名以上）

2. 意見交換の内容

あらかじめ提出していただいたテーマに基づき意見交換を行います。（時間は 1 時間 30 分程度）

3. 応募方法

申込書に必要事項を記載し、議会事務局へ提出してください。（ファックス、メール可）

※詳しくは、議会事務局にお問い合わせください。

第1回定例会 (3月) の表決結果

1. 全会一致で可決された議案等

(1) 条例

- ・行政組織条例の一部を改正する条例の制定
- ・非常勤特別職の職員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定
- ・学校教育法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例の制定
- ・廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定
- ・土地改良事業分担金徴収条例の一部を改正する条例の制定
- ・市営住宅条例の一部を改正する条例の制定
- ・市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定

(2) 補正予算

- ・一般会計 (第7号)
- ・国民健康保険特別会計 (第3号)
- ・公共下水道事業特別会計 (第3号)
- ・介護保険特別会計 (第2号)
- ・後期高齢者医療特別会計 (第2号)

(3) 当初予算

- ・国民健康保険特別会計
- ・公共下水道事業特別会計
- ・地方卸売市場事業特別会計
- ・介護保険特別会計

- ・戸崎地区漁業集落排水事業特別会計
- ・後期高齢者医療特別会計
- ・水道事業会計

(4) その他

- ・専決処分の承認を求めること
- ・指定管理者の指定について (全22件)
 - 生福交流センター、冠岳交流センター、照島交流センター、旭交流センター、荒川交流センター、川南交流センター、川北交流センター、川上交流センター、上名交流センター、土川交流センター、本浦交流センター、農村交流施設 (荒川コミュニティ広場)、農村交流施設 (ふれんどパーク羽島)、農村交流施設 (れいめいふれあい公園)、大里農産加工センター、川上生活改善センター、都市公園等 (北部地区)、都市公園等 (南部地区)、都市公園 (新田公園)、都市公園 (串木野サンセットパーク)、都市公園 (塩田第2公園)、都市公園 (上馬籠公園)、
- ・市道の廃止及び認定
- ・新学校給食センター建設工事請負契約の締結

2. 賛否が分かれた議案等 (○は賛成、●は反対)

(議案名)		(議員氏名)															
		吉留良三	江口祥子	松崎幹夫	田中和矢	中村敏彦	大六野一美	西別府治	濱田尚	中里純人	東育代	竹之内勉	原口政敏	下迫田良信	宇都耕平	福田清宏	平石耕二
条例	消費税及び地方消費税の税率の引上げに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について (可決)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	*
予算	平成 31 年度一般会計 (可決)	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	*

* 議長職のため、表決に参加しない

令和元年第 2 回いちき串木野市議会定例会日程（案）

- ・6月 7日（金） 本会議（開会日）
- ・ 〃 17日（月） 一般質問
- ・ 〃 18日（火） 一般質問 ※質問者多数の場合の予備日6月14日（金）
- ・ 〃 19日（水） 議案質疑
- ・ 〃 20日（木） 総務文教委員会
- ・ 〃 21日（金） 産業厚生委員会
- ・7月 1日（月） 本会議（最終日）

（注）この日程案は予定です。都合により変更することもあります。
 ※このほか、各種委員会、特別委員会などを行っています。

議会の動き（平成 31 年 2 月～ 4 月）

（2月）

- 7日 第4回政治倫理審査会
- 13日 佐賀県武雄市議会行政視察来訪
- 14日 全国市議会議長会評議員会（東京都）
- 15日 全国市議会議員共済会代議員会（ 〃 ）
- 20日 議会運営委員会
- 22日 第1回市議会定例会開会
- 25日 総務文教委員会
- 26日 産業厚生委員会
- 28日 一般質問1日目（12人）

19日 第5回政治倫理審査会

- 25日 議会運営委員会
- 27日 本会議（最終日）、議会広報特別委員会

（4月）

- 10日 第6回政治倫理審査会
- 12日 議会広報特別委員会
- 15日 議会運営委員会
- 18日 議員研修会
- 19日 議会広報特別委員会

（3月）

- 4、5日 一般質問2日目、3日目
- 6日 議案質疑
- 7日 総務文教委員会
- 8日 産業厚生委員会
- 11日 予算審査特別委員会（現地調査、書類審査）
- 12日、14日、15日 予算審査特別委員会（書類審査）

議会傍聴にどうぞ

車椅子のまま傍聴できます

次回の議会は **6月7日**からの予定です。
 市のホームページから生中継でご覧いただけます

編集後記

平成から令和に改元、新たなコミュニティが生まれます。
 12名の議員が一般質問し、さまざまな角度から1時間以上かけて市政の課題や政策を問いました。一般質問ページの見出しに顔写真を掲示しました。個人の個性と共にご覧下さい。
 表紙は、西薩写友会の皆さんの作品です。今後も多くの方の手で作成できたらと思います。
 （西別府 治）

議会広報特別委員会

委員長	中 村 敏 彦
副委員長	田 中 和 矢
委 員	吉 留 良 三
〃	江 口 祥 子
〃	松 崎 幹 夫
〃	西別府 治